

楽楽館だより 第162号【令和2年12月度】

「新年明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスが日本のみならず世界中に甚大な被害を及ぼした1年でした。現在も、家庭内感染や感染経路不明ケースの増加で、いづどこで誰が罹患してもおかしくない状況となっています。楽楽館としましては、昨年に引き続き確実な感染防止策を実施し、ご利用者の皆様の心身状態の維持向上のため、スタッフ一丸となってサービス提供の維持に努めてまいります。感染予防のため、様々な制限もありご不便をおかけすることもあるかと存じますが、皆様のご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。」

楽楽館館長 石川敬治

◇～ペーパーナプキンで作るオシャレリース～◇



今年のクリスマスは、今までに挑戦したことのないレクリエーションとして“ペーパーナプキンで作るリース”作りに取り組みました。『ペーパーナプキン』と聞くと、あまり馴染みのない方もいらっしゃるかもしれませんが、通常はお皿の上に敷いてお菓子やパンを乗せたり、食事の際のお手拭きとして活躍するものです。そのため、紙質がしっかりしていて丈夫なのが特徴。今回はクリスマスカラーで作成しましたが、淡いカラーのペーパーナプキンを使えば、春らしく可愛らしさ満点のリースになり、イメージの全く違う作品が完成します。作り方は簡単なもので、色々試してみるのも良いかもしれません。「すごく贅沢なリースね～！」と感激してお持ち帰りになった皆様です。

◇～今年もできました！干支の押絵～◇

毎年皆様が楽しみにして下さっている『干支の押絵』。令和3年は丑年、ということで、デザインをどんなものにするかから検討を始めます。調べているうちに、赤べこが良いのでは…という案が出ました。赤べことは、福島県の会津若松市で作られてきた、牛の姿をした郷土玩具。古くは「厄除け牛」や「幸運の牛」と呼ばれており、魔除けや疫病除けの縁起物として会津の人々に親しまれてきたものです。コロナ禍において、疫病除けの意味がある赤べこは最適ではないかということで、決定！毎年の押絵は、ご家族様の中にも楽しみにして下さっている方がいらっしゃり、皆様に喜んでいただけて何よりです。



◇～今月のナイスショット～◇



(写真・左)

12/24、25には、クリスマスのメニューが出ました。ポテトサラダはツリーに見立てて。

(写真・右)

夏休みと年末には、皆様の上履きをきれいに洗っています。ピカピカの上履きで、新年を気持ち良く迎えていただけますように。

